

電動合成枕木ポイントN-PR541-15-SY(F)・N-PL541-15-SY(F) 共通説明書

Electric Points for Synthetic Sleeper
N-PR541-15-SY(F)/N-PL541-15-SY(F)

レール(ファイントラック)は、ご使用になる前に本説明書をよくお読みのうえ、取り扱いには十分ご注意のうえでご使用ください。

●ファイントラック取り扱い上の注意

- 1.レールの着脱は水平に行なってください。ひねったりしないようご注意ください。無理な角度での引き抜きや差し込みを繰り返しますと、ジョイナーなどレール先端をいためず。
- 2.運転する前にはレールが確実に接続されているか確認してください。接続したレールどうしに段差がありますと車両が脱線するばかりか、レールを早くいためる原因になります。
- 3.パワーユニットから電気をレールに給電する場合は、専用のD.C.フィーダーをご使用ください。
- 4.レールの通電機能を良好に保つために、こまめに、すべてのレールを、トミックスレールクリーナーなどでみがいた後、乾ぶきしてください。特に油などを付けたくないようご注意ください。
- 5.道床(ベース部分)はABS樹脂製ですので、高温の場所(直射日光のあたるところ、暖房器具の近くなど)に長時間放置しないでください。変形する可能性があります。また、シンナー等の薬品にもご注意ください。



NECST-neo(ネクスト・ネオ)は、音、光、動きなど、プレイバリューの拡大と充実を目指した従来のネクストシリーズを進化させ、簡単確実な結線、操作性、機能性などがさらに向上した、レール、制御機器グループです。

模型取り扱い上のお願い

●使用上のご注意

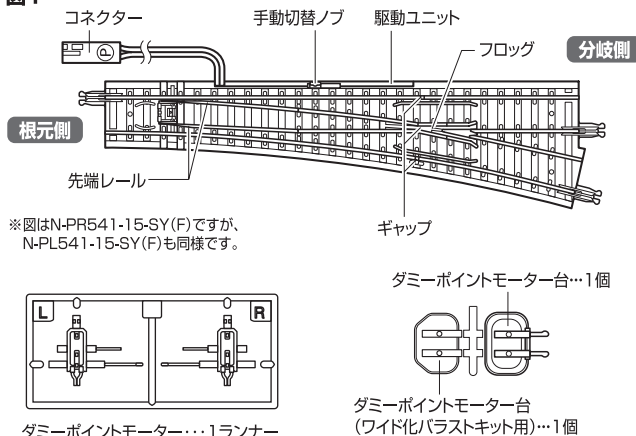
- 1.電動ポイントNの駆動には、必ず専用のネクスト・ネオシリーズパワーユニットN(※1・※2)及びポイントコントロールボックスN(※3)をご使用ください。
ネクスト・ネオシリーズのポイントNは、駆動に必要な分だけ電気をチャージして使用する新方式を採用しているため、それ以外の電源をご使用になると、ポイントを破損もしくはコイルをいため、著しく能力が低下する場合があります。
- ※1.旧製品のトミックスパワーユニット(品番5001、5006、5040)+ネクスト・ネオシリーズコンバーターボックスN(品番5500)の組み合わせでもご使用になります。
- ※2.(5529)ハイパワーポイント電源Nとの組み合わせでもご使用になります。
- ※3.ポイント1台切替用のSと、2台同時切替用のWがあります。ポイントの2台同時操作をする場合は、必ずポイントコントロールボックスN-Wをお使いください。
- 2.先端レールを直接指などで動かしたり、無理な力を加えたりしないでください。変形して機能が損なわれるおそれがあります。
- 3.ポイントコントロールボックスNからコードを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。コードを持って抜くと断線のおそれがあります。
- 4.湿気やホコリの多い場所、暖房器具の近くなど温度の高くなる場所でのご使用や保管は、模型に悪い影響を与えますのでおやめください。
- 5.注油はしないでください。また、ボンドや水分やゴミ、チリなどがポイントにはいらないようご注意ください。作動不良や通電不良の原因となります。
- 6.無理な力を加えて曲げたり、落としたり、上に重いものをのせないでください。故障の原因となります。
- 7.電動ポイントNの駆動には永久磁石を使用していますので、磁性体の近くでのご使用は避けてください。動作が不安定になる場合があります。
- 8.電動ポイントN用駆動ユニットは必要時以外、むやみに着脱しないでください。故障の原因となります。
- 9.固定式レアウトでのご使用など、駆動ユニット付近にプラストやストラクチャーなどを配置する場合は、駆動ユニットが交換できるよう、取りはずしを考慮のうえ配置してください。
- 10.塗装される場合は、駆動ユニット及びポイント作動箇所(塗料がかからないよう)に注意してください。動きがにぶくなるおそれがあります。また、先端レールは支点部(フログ側)から通電する方式のため、支点部に塗料をかけないようにご注意ください。

レール道床の色は塗装方法上バラつきがあります。ご了承ください。

●セット内容

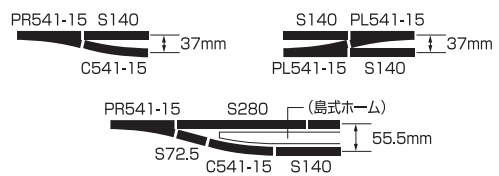
本製品は以下の内容となっています。付属のパーツはランナーよりいねいに切りはなし、説明にしたがって順番に取り付けてください。なお、刃物などの工具を使用する場合は、ケガなどのないよう十分ご注意ください。

図1



●ポイント使用時の寸法と消費電流

図2



電動ポイントNの消費電流=150mA

※消費電流の合計計算をする場合、電動ポイントNは個数に関係なく150mAとなります。

●ダミーポイントモーターの取り付け方

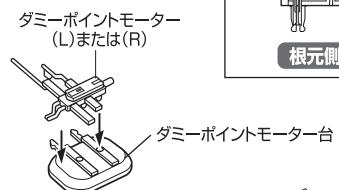
ポイント本体には、実物の形態を模したダミーポイントモーターをお好みにより取り付けることができます。パーツを使用する場合は、図3のイラストを参照してください。なお、パーツを取り付けない場合でも、ポイントとしての機能に問題はありません。

図3

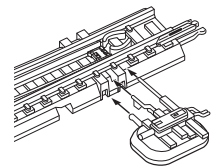
※ダミーポイントモーターの位置は根元側を手前見て、Lが左側、Rが右側です。

ダミーポイントモーター台

- 1.各パーツをランナーよりいねいに切りはなし、ダミーポイントモーターをダミーポイントモーター台へ、向きに注意しながら取り付けます。



- 2.ダミーパーツを取り付けた台座を、ポイントレール本体に差し込みます。ダミーポイントモーターはLとRで差し込む方向が異なりますのでご注意ください。



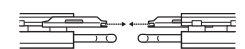
ダミーポイントモーター台(ワイド化プラストキット用)

ダミーポイントモーター台(ワイド化プラストキット用)は、〈3034〉ワイドレール化プラストキット(F)(PR(L)541(280)・PX280対応)に付属の説明書を参照してご使用ください。

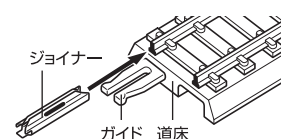
●レールの接続とジョイナーについて

図4

- ①レールを接続する場合は、ジョイナーの角度を水平に調整してください。



- ②ジョイナーがはずれた場合は、ジョイナーの向きに注意して取り付けてください。尖った部分がありますので、ケガなどないよう注意してください。

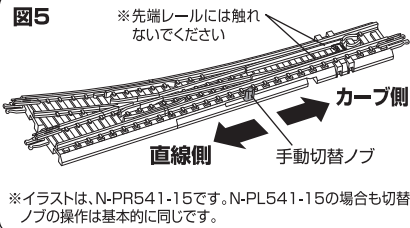


●交換用パーツ ジョイナー 0110

●手動でポイントを切り替える場合

本製品は電動ポイントですが、別売のポイントコントロールボックスNを使用せず、手動でポイントを切り替えることもできます。その場合は、図5を参考にしてください。

先端レールを直接操作しないでください。



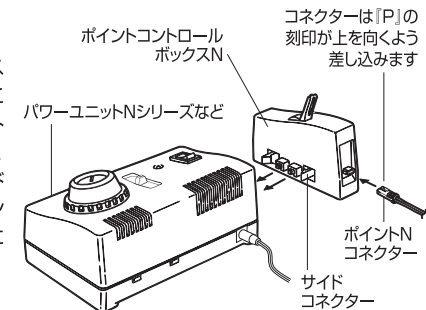
●電動でポイントを切り替える場合

別売のポイントコントロールボックスNを使用し、電動でポイントを切り替える場合は、以下の手順で準備および操作を行ってください。

図6

① 配線の方法

パワーユニットNの電源スイッチがOFFになっていることを確かめて、ポイントコントロールボックスNを接続し、ポイントから出ているコードのコンネクターをポイントコントロールボックスNの背面に差し込みます。



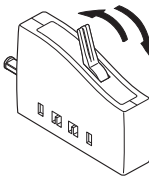
※イラストは、〈5531〉ポイントコントロールボックスN-Sですが、〈5532〉ポイントコントロールボックスN-Wも基本的に同じです。

② ポイントコントロールボックスNのリセット操作

正しく配線したのを確認した後、以下の手順で必ずリセット操作を行ってください。

1. パワーユニットNの電源をONにします。
2. ポイントコントロールボックスNのレバーを操作し、2回（1往復）切り替えます。1回目の操作でポイントが動作しない場合がありますが、異常ではありません。

レバーの切り替えは、必ず1秒以上間隔をあけてください。

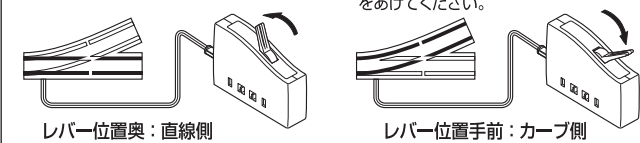


3. 下の③を参照してポイントが正しく切り替わっているか確認します。

③ ポイントの切り替え操作

リセット完了後、レバーの操作でポイントを切り替え、車両の運転をお楽しみください。

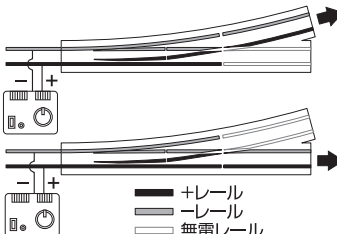
■ ポイントの切り替え方向



※配線した状態でポイントを手動で切り替えても壊れることはありませんが、コントロールボックスNの切り替え方向と一致しない場合があります。その場合は再度、リセット操作を行ってください。

■ 電氣的構造（通電状態）

本製品は、電氣的構造に「完全選択式」を採用しています。ポイント分岐側寄りギャップが設けられており、先端レールが切り替わった側のレールのみに通電し、切り替わっていない先のレールには、電気を流さない構造になっています。複雑なポイント配置やループ線なども、従来よりかんたんな電気配線が楽しめます。



■ スプリングポイント機能について

下の図の様に、車両が非開通方向からポイントに進入する場合、車輪でポイントの先端レール（トングレール）を押して通過することができます。



※車両通過後は、先端レールは元の位置に戻ります。

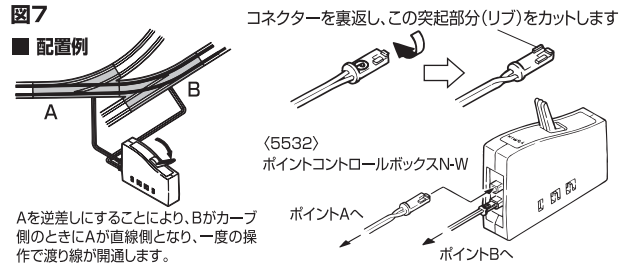
スプリングポイント機能を利用してポイント部を通る場合、かならず全ての車両を通過させてください。途中で進行方向を変えると、脱線・故障の原因となります。なお、軽量の車両や台車については対応しておらず、脱線する場合がありますので、ご注意ください。

●コネクターの逆差しについて

【上級者向け】

電動ポイントNのコネクターは、簡単な加工により逆差し（逆極性）でも使える構造となっています。逆差しを行なうと、ポイントコントロールボックスNのレバーの位置とポイントNの切り替わる方向が、通常とは逆になります。図7のように、ポイントコントロールボックスN-Wを使用し、一度の操作で向かい合った2つのポイントを同方向に開通させる場合などに逆差しが必要となります。

図7
■ 配置例



逆差し防止リブは配線を簡単にし、誤配線を防ぐために付けられています。リブをカットした場合には、コネクターを挿入する向きに十分注意してご使用ください。また誤配線による思わぬ事故を避けるため、必要な場合以外には絶対にカットしないでください。

コネクター部を加工せずに極性を反転できる、便利なクロスコード（別売）もございます。
〈5817〉クロスコード（電動ポイントN用）

●延長コードについて

ポイントの設置位置により、電動ポイントNのコードがポイントコントロールボックスNまで届かない場合は、別売の〈5814〉延長コード（電動ポイントN用）をご使用ください。延長コードは複数本を接続し、さらに長くして使用できますが、その場合の最大接続数は、5本以内としてください。延長コード1本の長さは150cmです。

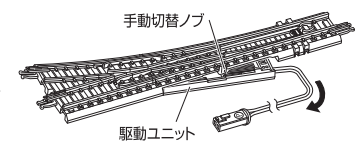
間違い防止のため、延長コードのコネクターのリブはカットしないでください。

●ポイントN駆動ユニットの交換方法

駆動ユニットを交換する場合は、別売の〈0107〉ポイントN用駆動ユニット（F）をお求めになり、図8の説明とイラストを参考に交換してください。

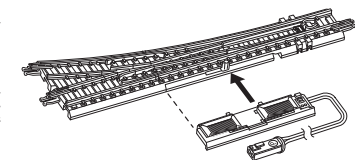
図8

1. 電動ポイントNをレイアウトに固定している場合は、コードをゆっくりと引っ張り、駆動ユニット部を引き出します。ユニットの端が出たら、ドライバーやツメなどを引っかけて、ユニット全体を取りはずします。ポイントが固定されていない場合は、駆動ユニット裏面のミゾにツメを引っかけてユニットを取りはずします。



手動切替ノブは絶対に引っ張らないでください。手動切替ノブを引っ張っても駆動ユニットははずれません。

2. 用意した別売の駆動ユニットを取り付けます。ポイントのミゾと駆動ユニットの左側を合わせるように、ていねいに差し込みます。



※イラストなどは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。また、トミーテックへお問い合わせの場合は、

トミーテックお客様相談室 トミックス係

TEL : 03-3695-3161(代) までご連絡ください。

電話受付 月～金曜日（祝・休日除く）10～17時

本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限ります。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

TOMYTEC 発売元
株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10